

ニセコ町自治創生女子会 議事概要

- 1 日 時 平成27年10月22日(木) 18:30~20:00
- 2 場 所 ニセコ町民センター 2階 研修室1
- 3 テーマ ニセコ町自治創生女子会
~ニセコのこと、あなたのこと、みんなのことをお話しませんか?~
- 4 講演者 中田自治創生係長
- 5 意見交換及び会場アンケート
3テーブルに分かれ意見交換を行った。各テーブル毎出された意見は下記のとおり

テーブルA 8名

ニセコに住む魅力

- ニセコの自然が好き。自然を守りたい。
- 近くに家族がいて、生まれ育った環境で暮らせるありがたさを感じる。家族のそばにいと安らぐ。
- 都会の暮らしはストレスフルだったが、ニセコの暮らしは収入は減ったが穏やか。

ニセコに住む不安・不満

- 年配になったとき車の運転ができるか不安。車がないと思った時に思ったところに行けない。
- 自然に囲まれて年をとるには良いが、逆に刺激が少なすぎて老けてしまいそう。
- 雪の不安がある。
- 冬の買い物は、隣町までとはいえ車を運転に不安を感じる。
- 退職移住をされた方は、70歳を超えたころから、生活が不便になってニセコを離れるのではないか。病院通いが大変になって転出するように、高齢になってからの医療がネックになっているのではないか。

ニセコでの働き方

- 働く場所は、職を選ばなければあると思うが、ニセコには安定した職や資格を生かせる職がない。
- 若者が魅力を感じ、働ける場所がない。
- 農家の出面さんは人が足りていないが、時間帯や働きに来てほしい人のイメージでミスマッチがある。誰でも良いというわけではない。
- 季節でアルバイト先が変わるのは、特に10月11月の暮らしが大変だった。通年で働

ける場所がもっと増えたら良いと思う。

出会い・結婚

- 独身の間は少ない収入で快適でも、結婚子育てすると収入を増やしたくなる。
- 結婚したいが出会いがない。
- 農家の息子さんも忙しくて相手を見つけられないでいる。

ニセコでの子育て

- 子育てをするならニセコ町が良い。ただし、小さいうちだけ。高校に行く頃になると選択肢がない。学びたい意欲のある子の場合、資金的に厳しくなる。

多くの人に参加してもらうために

- 会の開催時間帯をずらして、午前・午後・夜などで分ければいろいろな方が参加できるのではないか。
- 子育て世代の方の中でも、(今回の女子会に)興味があるが時間帯が合わないという人がいた。
- 出てほしい対象の中で、軸となる人を中心に声掛けを進めればたくさん集まると思う。

全般

- ニセコ生まれ育ちだが若いころは都会に特別な理由もなく憧れた。
- 町内で服を買って、町内にお金を落とすことが大事だと思う。製品を作った人がわかると安心。
- 町内でお金を循環させることが大事。日常の食べ物を町内産のものを優先して購入するなど比較的気軽に始められる取組。
- 若い人にもふるさと回帰志向はあると思う。
- 20～30代の失業者数の増は、出産にからんでの動きではないか？

テーブルB 7名

ニセコに住む魅力

- ずっと田舎暮らし(出身は蘭越)をしているが、近隣町村から見てもニセコは憧れの町で垢抜けていると思っている。
- ニセコの生活に全く不満がない。後志管内の町村出身で、もともとニセコよりもずっと田舎だったので、生活しやすいと思っている。

- ニセコに来る前は4年ほど隣町に住んでいて、とても住みやすい町だったからニセコに引越したくないと思ったほどだが、いざ引越してきたら便利に変わらないし、スキー場もあるし、周りの人はとても優しい人ばかりでニセコが好きになった。
- とにかくニセコが大好き。いろいろ都会も外国も住んできたが、ニセコを最後の場所としようと移住してきた。

ニセコに住む不安・不満

- 土地の値段も高すぎる。都会から来る脱サラ世代などある程度蓄えがあるような人たちは安いと思うかもしれないが、これから子供を作るような若い子育て世代にとっては買えるような値段ではない。定住することを条件に割引にする制度をつくれればいいのではないか。町で土地を買って不動産とか経営すればいいのでは。
- 子供は高校生と中学生。産んでからニセコにきたが、子供や自分の病院は倶知安や伊達まで行っていた。風邪をひいても預ける場所がないので毎日風邪だけはひかないようにドキドキして過ごしていた。
- これから年をとって運転できなくなったらどうしようという不安はある。でも、大きいスーパーもお店もできてほしいとは思わない。ヒラフはヒラフの良さがあるが、ニセコはヒラフのようにはなってほしくない。
- ニセコ町では介護とか病院とかの施設などがあまり整備されていないと感じるため、実際自分が年をとってきて不安を感じるころはある。
- （ニセコ町は高齢者福祉施設が充実していないと感じるが）スウェーデンはとも高年齢者施設が充実しているが、自殺率も多い。なんでもやりすぎるのも良くないと思うが、もう少し福祉のベースをしっかりとつくってほしい。
- いつでもいける病院（特に産婦人科）がないことに不安を感じる。

ニセコでの働き方

- 人口を増やす観点でいくと、定住を増やすことが大事だと思うが、そのためには安定した雇用、住宅が必要だと思う。正規雇用の人に限らずパートなどで非正規雇用の人でも皆そうだと思うが、与えられている仕事の内容によっては今急に休んだり辞めたりできない状況も十分あるので、二人目、三人目と作りたいと思っても作れない。職場環境がもう少し協力的でないといけない。

子育て

- 住みやすい町というのはどういう町か考えたとき、子育て世代が住みやすいと感じるような町が一番住みやすい町だと思う。
- 移住者の中には（30～40歳で移住してきて）これから高齢出産で初産の人も2人ほどいるし、病院関係などで不安を感じているのも聞く。自分は子育ての先輩として、子供を

見てあげたりアドバイスしたりしてあげたいと思っているが、移住者は多様化しているので、その中にも（資格を持っていて）絶対同じように子供を預かってくれる人もいっぱいいるのではないか。

- 自分は親も函館と旭川にいるので近くに子供を預かってくれる人はいないし、幼児センターが無理ならどうしようもない。育児休暇が取れるからいいという話もあるが、1～2年とったところで子供はまだ2歳。それではなかなか難しいのが現状。仕事をやめることも考えなければならぬかもしれない。ある程度子供が大きくなれば、自然もあるし、周りの方も助け合いがあると聞くし、育てるにはいい環境なのかもしれない。（人口増の手段として）自然増の観点で考えれば、女性が産みやすい・育てやすいような環境を整備することが大切だと思う。

交流

- 近藤のほうではよく交流があるが、他でも世代間、移住者との交流をもっとしていくべきだと思う。
- 外国人が多く、国際的な部分に興味があってきたので、もっと教育も国際的に進んでいけばいいと思う。
- 今回の話でも、もともと住んでいる人（長く定住している人）、移住してきた人で意見が違ふということもわかったので、これからもこの話し合いの場を設けてお互いのいいと思うポイントを探っていければいいと思う。

住宅

- 団地に住みたいという話はほとんど聞かない。もっと山側のほうにある廃屋みたいなどころ、中古の一軒家などの情報を把握して、空き家情報をわかるように発信してほしい。
- 今は特別に住まわせてもらっているが、今のところに住めなくなった場合、住宅がないというのが唯一の悩みだと思う。
- 自分が移住してきた頃は、移住者はほとんどいなくて珍しがられたものだが、今は周りのほとんどが移住者。周りの意見としては団地に入りたくない、山のほうで一軒家に住みたいという意見が多い。

全般

- どう住みやすい町にするかという話だが、今で自分は十分住みやすいし発展は望んでいない。そもそも田舎（不便なもの承知の上で）が良くて住んでいるので、森林を伐採してまで、また今の町並みを壊してまで住宅も増やしてほしいとは思わない。
- 買い物や病院など近隣町村で済ますことができるし、そもそも自然に慣れてニセコにきたのでこれ以上開発は進んでほしくないと思う。
- 札幌出身でニセコには5年目となるが、正直いまだにこの田舎生活に慣れていない。で

もだからもっと開発して変えたほうがいいとまでは思っていない。自分は自然に憧れてきたわけでも、田舎が良くて来たわけでもないで、そういう人たちとは少し考えが違うかもしれない。

テーブルC 5名

ニセコに住む魅力

- 自然が豊かなこと
 - ・湧き水が身近にたくさんある。
 - ・星がきれい。流れ星も見える。
 - ・山に囲まれていて安心感がある。
 - ・水や食べ物がおいしい。
 - ・景色がきれい。
 - ・四季の移り変わりを身近に感じられる。
- 温泉がたくさんあること
 - ・温泉が選び放題。泉質も豊か。
 - ・温泉がたくさんある。
- 住んでいる人が魅力的なこと
 - ・外国人や移住者などいろいろな経歴の方がいて、おもしろい。
 - ・国際的
 - ・地域に顔見知りがたくさんいる。
 - ・町民があたたかくて、声かけてくれる。
- リゾートであること
 - ・スキー場が近くてウインタースポーツ環境がいい。
 - ・大きなホテルがたくさんあるので何かするとき便利。
- 小規模な自治体であること
 - ・人・車が少ないので運転しやすい。
 - ・あまりお金を使わない。
 - ・町長に会って自分のやりたいことを直接説明することができる（夢の実現へ向けての協力を仰ぎやすい）

ニセコに住む不安・不満

- 交通が不便
 - ・公共交通機関が不便。
 - ・JR、バスなど交通手段が少ない。

- ・車に乗れなくなったときが不安。

■住居

- ・住むところがない。

■雪が多いこと

- ・雪かき、雪道運転、車がすぐ動かない、ホワイトアウト
- ・除雪が大変

■買い物

- ・急にほしいときに買い物が不便
- ・町内で買えないものがある。
- ・食材、服、日用品など、買い物の選択肢が少ない。

出会い・結婚

- 出会いがない。

交流・たまり場

- 居場所などが無い。
- ・遊び場が少ない。中高生など多感な時期に周りの目を気にせずおしゃべりする場所がない。
- ・時間つぶしに入れるカフェがない。
- ・夜ご飯を食べに行くところが少ない。

会場アンケート

- 子育て中の方の意見をもっと聞きたかった。保育のサポート付きの集まりを工夫していただきたい。
- 子供の育つ環境づくりが人口増加、定住増加のキーポイントになる
- 地元組、移住組、外国の方、国際結婚の方、U ターンの方など、色々な方々と話してみたい。
- 時間が少なかった。意見を出しあって終わってしまったので次回は改善できれば。
- ニセコ町内の女性と話ができ、有意義な時間だった。
- いろいろな年代や地元の方、移住の方と話ができ、良かった。
- データをもとに、今のニセコを知ることができた。
- デパートがないという話は、インターネットが普及してボーダレスだと思う。(多少の不便はある)
- 皆、ないものねだりだと思う。ニセコは自然豊かなのに、わざわざ都会化しなくて良い。

- 若いうちは、都会にあこがれたが、今はUターンした。
- 結婚・子育てするなら自分が生まれ育ったニセコが良い。親兄弟がそばにいる。
- 女性の目線という話し合いはよい機会だった。続けていくと良いと思う。
- 意外なニセコ町の現状も聞けて良かった。
- 今日は、小さい子育て中の人のお話も聞きたかった。時間帯を変えて会を設けたらいいのでは。
- 役場の職員も、担当の人ばかりではなく、もっと町民の中に入って話をしたらよいと思う。特に若い職員は、地域の人にかわいがられ、様々な情報集めもできるのでは。
- グループ分けすることで発言しやすかった。
- 実際に行きたくても行けない人たちの声を拾うことが大切。あそぶっくや幼児センターなど「話を聞きたい人達が集まる場」に出向くことが重要だと思う。
- ニセコ町で里親制度の実施や里親施設の整備をしてはどうか。子供に恵まれなかった方で、身寄りのない子供を里子として受け入れたいという方がいる。
- 知人が大勢できると楽しく暮らしていけると改めて感じた。コミュニケーション能力が大切。
- 森林・自然を残す取り組みをしてほしい。
- 出産・育児を安心してできる病院があるとうれしい。
- 子育て支援や老人福祉が不十分。
- 地元の住民と新しい移住者との接点を持たせるような取組が必要。
- 老後の生活（除雪や車の運転ができないなど）不安がある。
- 自治創生のためには、男女平等（共同）参画社会が基本であり、まだ女性の視点・意見が活かされていない。
- 今回の話題には男女平等の話が出ず、そのような雰囲気もなく残念に感じる。

以上